

恵庭市長定例記者会見原稿(H25. 12. 16)

お忙しい中、お集まりいただきましてどうもありがとうございます。

まず始めに、私はこの度の任期満了に伴う市長選挙におきまして引き続き市政を担うこととなりました。



改めて市長という職責の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

行政運営にあたりましては記者会見等を通じて情報提供して参りますので、記者の皆様方におかれましては、これまで同様ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本日は、第4回定例会終了直後でありますので、議会を終えての所感並びに、今後予定する事業などについて発表させていただきます。

今議会におきましては、追加提案した議案1件を含む18件の議案について審議いただきました。

その主なものとして「恵庭市副市長の選任同意について」、「恵庭市債権管理条例の制定について」、「公の施設の指定管理者の指定について」などについてであります。

その全ての議案についてご承認いただきましたことに、まずもって感謝いたします。

また、一般質問や各常任委員会の中で、市政の各般にわたる様々な課題に関してご質問をいただきました。

これら議会からのご指摘を大切にしながら、様々な施策の推進をさらに図って参ります。

それでは、本日の発表内容を述べさせていただきます。

まず1点目は、「灯油価格高騰に伴う緊急対策事業の実施について」であります。

家庭用灯油価格は今年度に入っても1ℓ 当たり95円前後の高値で推移し、恵庭市内の小売価格は、11月時点で99円40銭まで上昇しております。これから厳寒期を迎えるにあたり、今後さらに灯油価格が上昇することが明らかなことから、低所得世帯に暖房用灯油等の購入費の一部を助成する「灯油価格高騰に伴う緊急対策事業」を昨年度に引き続き実施することといたしました。

対象となる世帯は、高齢者世帯で75歳以上の単身世帯、70歳と75歳以上の世帯、65歳以上で要介護者と同居している世帯、障がい世帯は身体障害者手帳1級及び2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの世帯、ひとり親世帯は児童扶養手当を受給している世帯で、いずれも住民税の非課税世帯が対象となります。助成額は1世帯当たり1万円といたしました。

すでに、対象と思われる世帯へは個人案内を発送し、市役所・支所・出張所で申請の受付を開始しており、対象世帯は約1、600世帯と見込んでおります。

2点目は、「北部方面隊第1戦車群との災害時の連携に係る協定書の締結について」であります。

これまでも、恵庭市を隊区とする第1戦車群との間では、災害時あるいは災害の発生が予想される場合には、被害状況やその対策等について情報を共有するなど、連携しながら必要な対応を図ってきたところであります。

こうした中、何時、如何なる時に発生するか予想できない災害に対して、市と第1戦車群との間で更なる連携強化を図ることが必要と考え、災害時に双方が連携すべき事項を明確化することとし、明日、12月17日(10時)に「災害時の連携に係る協定書」を締結することとなりました。

市としましては今回の協定により、災害に備えた早期の支援体制の構築などが可能になるものと考えており、今後ともこうした協定をもとに、第1戦車群との必要な協力体制の構築に努めて参りたいと考えております。

3点目は、「えにわ食農交流フェスタ・えにわマルシェ開催について」であります。

来年2月1日(土)、第5回目の「えにわ食農交流フェスタ」が市民会館中ホールで開催します。

今回は、恵庭市農商工等連携推進ネットワークとの共催であり、市内に立地する企業の商品を提供し、地域資源の豊かさをPRするとともに、市民と企業のふれあいの機会とすることを目的としております。

恵庭市農商工等連携推進ネットワークは、市内の企業が産業の垣根を越えて連携し、地域資源を用いた新たな商品の開発・販売を通して、地域経済を活性化しようと今年の2月に設立され、これまで、「恵庭バーガー」「とまと醤油」「えにわマッコリ」などの商品を開発しております。

前回のフェスタ、3,500人あまりの来場がありました。今回も是非、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

続いて、「えにわマルシェ」の開催についてであります。

回を重ねる度に市民に定着してきた「えにわマルシェ」も、平成25年度第3回目を開催することとなりました。今年度は、第1回目を花ロードえにわで、「恵庭花とくらし展」と合同開催し、第2回目は市民会館前特設会場で、JC北海道大会と合同開催を行い、いずれも多くの方々のご来場を得て大変盛況でありました。

第3回目は、来年2月1日(土)、2日(日)の両日に「えこりん村」において、道内でも有数の規模を誇る「第3回えにわ犬ぞり大会」と合同開催する運びとなりました。

今回は、「えにわ犬ぞり大会」と連携することで、大会に出場する選手をはじめ、市内外から多くの人が集まり、交流の場としても期待されるところです。

恵庭では、比較的冬のイベントが少ないということもありますので、こうしたイベントが更に定着していけば、「冬の観光イベント」も盛り上がってくるのではと期待しております。

2月からは、今ご紹介したイベントのほかにもお子さんから楽しめる催しが、各団体などで計画されておりますので、皆様にできるだけ周知していきたいと考えております。

寒い時期ではありますが、是非とも家族等で外出して楽しんでいただきたいと思います。

4点目は、「平成26年度予算編成について」であります。

将来の市の財政収支見通しを推計しますと、今後の財政状況は、歳入歳出両面における様々な要因から、厳しさを増していくことが想定されます。

このため市では、これまでの財政収支計画に代えて、経常収支の改善とそれによる政策実施に充てる財源確保を目的に、中期的な財政運営の基本的な考え方や、指針となるべき項目や具体的な指標といった取り組む方向性を示す「財政運営の基本指針」を新たに策定したところであります。

その取り組みの一環として、平成26年度予算編成では、従来の予算編成方式の一部を見直し、全庁的な経費のスリム化に向け、各部の要求額にシーリング（マイナス5%）を実施するとともに、これまで各部の裁量に委ねていた要求事業についても改めて査定を実施するなど、限りある財源の効率的かつ適正な配分を徹底し、経常収支の改善を図っていくこととしております。

こうした財政運営や予算編成を通じて、第4期恵庭市総合計画「後期基本計画」に沿った、市民が将来にわたり快適で豊かさを感じ、生きがいと地域に誇りがもてるまちづくりを進めるため、必要な財源を確保し、平成26年度からスタートする第4次実施計画を着実に実施して参ります。

最後に、「年末年始の市役所庁舎の特別開庁について」であります。

市役所の年末年始の休暇は、「12月29日から翌年1月3日」としてありますが、今年度の年末年始休暇は、土曜日、日曜日が重なり、9連休といった長期になります。このため、市民の皆様の利便性やサービス確保といった観点から「12月30日（月）の午前8時45分から午後5時15分」の間、本庁舎に限り、一部の窓口部門を中心に特別開庁することといたしました。

取り扱う業務の詳細は、配布資料をご参照いただきたいと思います。市民課や国民健康保険課、介護福祉課等、全8課で、各種届出や証明書等の交付を行い、市民サービスの確保を図って参ります。

なお、取り扱う業務等につきましては、広報誌やホームページにより市民の皆様に周知することとしております。

年末年始休暇に伴う市役所庁舎の特別開庁につきましては、以上でございます。

以上 私からは、予定していた項目について説明させていただきました。

詳細については各担当者からお聞き下さい。

【質疑応答】

(記者) 予算が厳しいというがどのくらい不足しているのか

(市長) 新規事業や人事経費など必要な経費を取ると、1億から2億ほど不足している状態です。扶助費にも費やしています

(記者) 扶助費を抑制するための対策は考えているのか

(市長) 生活保護費を減らすために、自立に向けた就労支援などは実施しています

(記者) シーリングを全面に押し出すのは、ほかの自治体ではあまりないような気がします

(総務部長) ほかの自治体でもやり方はそれぞれですが、シーリングを用いているところはあります。恵庭市では久しぶりの実施です

(副市長) 平年通りに予算を組めばおおむね2億ほど不足します。事業を選択して圧縮する、それとシーリングで圧縮したい。それで調整できればと思っています

(記者) 税収の予測としては前年より上がっているのか

(総務部長) これから見込むところですが、これからの将来設計をみても伸びるようには見込んでいないです。企業ではなく個人でみると、恵庭も生産年齢人口が減っていますので、市民税全体では伸びる見方はできないです

(副市長) 恵庭は法人税の比率が低く、給与所得者からの税率が高い。そういった面では、アベノミクスの効果が表れるにしても、少し時間がかかります

(記者) 食農交流フェスタが会見項目にあがっていますが、昨年出展した静岡県藤枝市とは今後なにか交流を考えているのか。秋には恵庭市職員が藤枝市を訪れているようだが

(市長) 藤枝から災害の関係で連携を取りたいという提案をもらい、いま検討しているところです

(経済部長) 食農フェスタでは昨年も藤枝市から出店がありましたが、今年も規模を大きくして出店する予定です

(記者) 藤枝と恵庭の企業間同士で商品の企画などは考えているのか

(経済部長) 藤枝市はお茶が有名なので、それを使って…という話はちらほら出ていますが、まだ特定の企業が特定の製品を、というところまで進んではおりません

(市長) それが形になれば面白いですね